

報道関係者各位

2001年 2月 21日
杏林製薬株式会社
科研製薬株式会社

持続性 緑内障・高眼圧症治療剤『ミロル[®]点眼液0.5%』の 新発売について

杏林製薬株式会社（社長 荻原郁夫 本社 東京都）は、本日（2月21日）、持続性 緑内障・高眼圧症治療剤『ミロル[®]点眼液 0.5% (MIROL[®]Ophth.Soln.0.5%)』を販売委託先である科研製薬株式会社（社長 乾 四朗 本社 東京都）より、新発売いたします。

ミロル[®]点眼液 0.5%は、米国アラガン社で開発された 1 遮断作用を併せ持つ非選択的遮断点眼液であり、かつ持続的な眼圧下降作用を有しており、1日1回点眼で緑内障・高眼圧症に対し良好な作用を示します。また、1985年以降、欧米をはじめ海外で広く使用されその有効性と安全性が認められています。

本剤のプロフィールは、以下の通りです。

1. 一般名：塩酸レボブノロール(Levobunolol Hydrochloride)
2. 組成：1 mL中に塩酸レボブノロールを5.0 mg含有する
3. 適応症：緑内障・高眼圧症
4. 特徴:

遮断作用と 1 遮断作用を併せ持つ緑内障・高眼圧症治療点眼剤です。

1日1回の点眼で、持続的な眼圧下降作用を発揮します。

・水溶性の 遮断点眼液として初めての1日1回タイプです。

視神経乳頭部などの眼組織血流量を増加させます。(健康成人)

総症例530例中26例(4.9%)に副作用が認められました。(承認時)

5. 薬 価：0.5% 1 mL 619円40銭

6. 包 装：5 mL × 10本

杏林製薬(株)は、眼科領域に注力している科研製薬(株)と『ミロル[®]点眼液 0.5%』の売買契約を締結しました。本剤の新発売により、科研製薬(株)は眼科領域の商品群の補完が図られ、杏林製薬(株)は、重点領域(呼吸器内科、耳鼻科、泌尿器科)への注力を図るとともに、自社販売を上回る収益を期待しています。

なお、製品につきましては杏林製薬(株)が完成品を科研製薬(株)に供給いたします。

以上

この件に関するお問い合わせ

杏林製薬株式会社	企画室
TEL: 03-3293-3414	
科研製薬株式会社	広報G
TEL: 03-5977-5002	